

CASBEE 広島 2016年版
(仮称)広島市中区三川町PJ 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点		重み係数		評価点		重み係数		全体
Q 建築物の環境品質														2.5
Q1 室内環境														2.8
1 音環境						3.0		0.15		3.1		1.00		3.0
1.1 室内騒音レベル						3.0		0.50		3.0		0.50		
1.2 遮音						3.0		0.50		3.2		0.50		
1.2.1 開口部遮音性能		住居部:T-2採用				3.0		1.00		5.0		0.30		
1.2.2 界壁遮音性能						3.0		-		3.0		0.30		
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0		-		1.0		0.20		
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0		-		3.0		0.20		
1.3 吸音						3.0		-		3.0		-		
2 温熱環境						2.2		0.35		2.9		1.00		2.7
2.1 室温制御						2.2		0.50		3.7		0.50		
2.1.1 室温						3.0		0.63		3.0		0.63		
2.1.2 外皮性能		断熱等性能等級:等級4相当を超える水準				1.0		0.38		5.0		0.38		
2.1.3 ゾーン別制御性						3.0		-		3.0		-		
2.2 湿度制御						1.0		0.20		1.0		0.20		
2.3 空調方式						3.0		0.30		3.0		0.30		
3 光・視環境						2.3		0.25		2.6		1.00		2.5
3.1 昼光利用						1.8		0.30		1.9		0.30		
3.1.1 昼光率						1.0		0.60		2.0		0.50		
3.1.2 方位別開口						3.0		-		1.0		0.30		
3.1.3 昼光利用設備						3.0		0.40		3.0		0.20		
3.2 グレア対策						2.0		0.30		3.0		0.30		
3.2.1 昼光制御						2.0		1.00		3.0		1.00		
3.3 照度						3.0		0.15		3.0		0.15		
3.4 照明制御						3.0		0.25		3.0		0.25		
4 空気質環境						3.0		0.25		3.1		1.00		3.0
4.1 発生源対策						3.0		0.60		3.0		0.63		
4.1.1 化学汚染物質						3.0		1.00		3.0		1.00		
4.2 換気						3.0		0.40		3.3		0.38		
4.2.1 換気量		居室面積の1/8以上開放可能な窓を確保				3.0		0.50		3.0		0.33		
4.2.2 自然換気性能						3.0		-		4.0		0.33		
4.2.3 取り入れ外気への配慮						3.0		0.50		3.0		0.33		
4.3 運用管理						3.0		-		3.0		-		
4.3.1 CO ₂ の監視						3.0		-		3.0		-		
4.3.2 喫煙の制御						3.0		-		3.0		-		
Q2 サービス性能						-		0.30		-		-		2.8
1 機能性						2.4		0.40		2.6		1.00		2.5
1.1 機能性・使いやすさ						3.0		0.40		3.0		0.60		
1.1.1 広さ・収納性						3.0		-		3.0		-		
1.1.2 高度情報通信設備対応						3.0		-		3.0		1.00		
1.1.3 バリアフリー計画						3.0		1.00		3.0		-		
1.2 心理性・快適性						1.0		0.30		2.0		0.40		
1.2.1 広さ感・景観						3.0		-		3.0		0.50		
1.2.2 リフレッシュスペース						3.0		-		3.0		-		
1.2.3 内装計画						1.0		1.00		1.0		0.50		
1.3 維持管理						3.0		0.30		3.0		-		
1.3.1 維持管理に配慮した設計						3.0		0.50		3.0		-		
1.3.2 維持管理用機能の確保						3.0		0.50		3.0		-		
2 耐用性・信頼性						2.8		0.30		2.8		-		2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0		0.50		3.0		-		
2.1.1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0		0.80		3.0		-		
2.1.2 免震・制震・制振性能						3.0		0.20		3.0		-		
2.2 部品・部材の耐用年数						2.9		0.30		2.9		-		
2.2.1 躯体材料の耐用年数						3.0		0.20		3.0		-		
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0		0.20		2.0		-		
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						2.0		0.10		2.0		-		
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0		0.10		3.0		-		
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用				5.0		0.20		5.0		-		
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔						2.0		0.20		2.0		-		
2.4 信頼性						2.6		0.20		2.6		-		
2.4.1 空調・換気設備						3.0		0.20		3.0		-		
2.4.2 給排水・衛生設備						2.0		0.20		2.0		-		
2.4.3 電気設備						3.0		0.20		3.0		-		
2.4.4 機械・配管支持方法						3.0		0.20		3.0		-		
2.4.5 通信・情報設備						2.0		0.20		2.0		-		

3 対応性・更新性		2.8	0.30	3.2	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり		-	-	3.4	0.50	
1 階高のゆとり	階高:3m以上	3.0	-	5.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		3.0	-	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		2.8	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		2.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制	断熱等性能等級:等級4相当を超える水準	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm]: 0.38	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.4
1 水資源保護		2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水		1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.4	0.60	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0.01未満、GWP=50未満	4.0	0.50	-	-	
3 冷媒		2.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率を 24 %	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮		2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.6	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.33	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		-	-	-	-	
3 交通負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	0.50	-	-	
2 振動		3.0	0.50	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	